



県高連新聞



CONTENTS

- P2～3…… 2022年度あいさつ・定期総会報告
- P4～5…… 我が校自慢 部活動／生徒会・進路対策研修会報告
- P6……… 九高P連大会長崎大会第2分科会発表・サポステーション
- P7……… 学校紹介 菊池高等学校・八代農業高等学校
- P8……… 熊本県PTA共済のご案内 生徒総合保障制度のご案内

2022年度熊本県高校総体開会式

6月3日パークドーム熊本において3年ぶりに開催された高校総体開会式。
(上)各校15名以内マスク着用など、感染防止に努めながら、77校の選手団が堂々の入場行進を行った。
(下)オープニングでマーチングドラルの演技を行う熊本工業高校吹奏楽部。

2022
SEPTEMBER

Vol. 52



定期総会報告



六月二日(木)、K Rホテル熊本において、各校のPTA会長・学校長など百十八名(定数百二十四)が出席して定期総会が開催されました。本年度は三年ぶりに来賓をお招きし、古田市町村教育局長始め多くの皆様のご臨席を頂きました。表彰式では、受賞者十七名を代表して齊藤智隆県連副会長に表彰状が授与されました。その後議事に入り、令和三年度事業・会務報告、決算・監査報告、令和四年度役員改選、事業計画、予算案などについて審議が行われ、すべて承認されました。なお、新役員については別記名簿のとおりです。講演会では、人吉の織月酒造社長、堤純子氏から、

「球磨焼酎・伝統産業の継承と発展」と題してお話を伺いました。七月豪雨災害からの復旧・復興、商品開発の苦労など興味深いお話しで、会場から多くの質問がでるなど好評でした。

令和4年度 熊本県公立高等学校PTA連合会役員

Table with 5 columns: 役職 (Position), 氏名 (Name), 所属高校 (Affiliated High School), 地区 (Region), 委員会 (Committee). It lists the executive members of the Kumamoto Prefectural High School PTA Federation for the Reiwa 4th year.

スローガン

『すべては子供たちの夢の実現のために!』

重点事項

- List of 8 key items (重点事項) for the PTA activities, including support for school facilities, safety, and student welfare.

九州大会表彰

- List of awards received at the Kyushu Conference, including recognition for various PTA groups and individuals.

全国大会表彰

- List of awards received at the National Conference, highlighting achievements of PTA members and groups.

2022年度 熊本県公立高等学校PTA連合会会長・熊本県公立高等学校長会会長 ごあいさつ



熊本県公立高等学校長会 会長 熊本高等学校 校長

熊本県公立高等学校 PTA連合会 会長

牛田 卓也

夏木 良博

一人一人のためのPTA

会員の皆さまにおかれましては、平素より本会の活動にご理解とご協力を頂いておりますこと、拝謝申し上げます。また、生徒の学校生活と将来のために尽力されている、各学校のPTA役員並びに学校関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症のパンデミックも3年目となりコロナ前の学校を知る生徒がいないという中、第6波第7波の影響を受けながらも、総体・総文の開会式を実施でき、体育大会等の学校行事も3年生を中心に工夫と努力で実現出来ていることは、大変喜ばしい限りです。

「価値」≠「違い」×「理解」

高P連会員の皆様におかれましては、各学校の教育活動の振興に並々ならぬ御支援と御協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルスとの闘いも3年目になり、教育活動にも大きな影響が長く続いています。しかし、子供たちにとっては取り戻すことができない大切な時間であり、各学校とも感染防止を図りつつ、いかにして学びを継続するか腐心しています。引き続き御理解と御協力をお願いします。

さて、現代は「多様性(diversity)」の社会と言われる中で自分と異なる価値観、モノ、コトを如何に受容(inclusion)するかが重要です。例えば熊本では今、台湾の半導体メーカー「TSMC」進出が大きな話題になっていますが、ここ数年でこれまでに経験したことがないような大きなグローバル化の波が押し寄せるでしょう。これは教育の場についても例外でなく、教室で中国語が飛び交う風景がみられるようになるかもしれません。グローバル化に伴う人種、民族、国籍、言語などに限らず、性や性的志向、障がいの有無、年齢など、多様な人々が共生することがあたりまえの社会になりつつあります。これからの社会で生きてゆく子供たちには、多様性を受容する力が求められます。社会問題に

また、学校行事だけでなく、生徒たちは地域や大学、企業とも積極的に連携を図り、様々な活動を通じて、学びを深めると共に、多くの人たちに元気を与えてくれています。一人一人活躍の場は違っても、彼ら彼女らは、自分の考えで前に進んでいます。特定の活動に評価が集まりがちですが、出来るだけ多くの生徒に目を向けて欲しいと思います。

新型コロナウイルス感染症やウクライナ問題は、これまで潜在的だった社会の様々な問題を浮き彫りにし、社会全体の対応力の無さを痛感します。高校生に関連する事でも、成人年齢の変更に伴う問題、制服や校則も含めた多様性

の問題など、表面的な話だけが先行してあります。私たちは、生徒の成長の機会を、長期的な視点、短期的な視点を平行して考えながら、確保しなければいけません。そのためには、今以上に、高校生の社会を知り、将来に必要な知識や感性を共に学んでいける保護者、PTAであるべきではないでしょうか。本会も、研修会のネット配信など、新しいチャレンジにも取り組んでいます。

県高P連は、子供たちと共に、この試験を乗り越え、生徒たちが輝けるよう、各校や諸団体との連携を図りながら努力していく所存です。

なっている「いじめ」に関しても、自分と他者の違いを上手く受容できないことに起因するものが少なくはありません。このような時代に私たち大人に求められるのは、子供たちを枠にはめたり、価値観を押し付けたりせず、子供一人ひとりの考えを最大限尊重し、認めることではないでしょうか。何よりも私たちの率先垂範が大切です。変化の激しい社会にあつて、今後とも各校のPTAの皆様と教職員とが共に学び、そして連携を図りながら、未来に生きる子供たちを育みましょう。

事務局 〒860-0844 熊本市中央区水道町14-21 熊本県婦人会館3F TEL. 096-326-3932 FAX. 096-326-5527

Advertisement for Kokei Juku (壺溪塾) featuring a QR code, contact information (TEL: 096-213-7772), and details about their 'High School Jump Course' (高校ジャンプコース) for students aiming for university entrance.

予告 県高P連秋季研修会

日時：11月26日(土)13時～

会場：熊本県立劇場大会議室

内容：知っておきたい青少年の性(仮)

講師：立正大学文学部社会学科 教授

石川 由香里 氏

◎10月中旬に案内を送付します。

◎講演はYou Tubeでも配信予定。

視聴用のパスワードは後日お知らせします。



進路対策研修会

県高P連「令和4年度進路対策研修会」が7月30日(土)に熊本城ホールA4会議室にて開催されました。いまだコロナウイルス感染症の猛威により心配されていますが、前年度の研修会における事務局の感染予防対策もあり、無事研修会が行われました。

研修内容は進路対策という事で、講師に(株)野田電子人材ソリューション事業部長の八重樫武氏を迎え「変革する時代に求められる人材とは」の講演とご息女が就職された元県高P連副会長中尾友二氏とご子息が進学された元県高P連理事出水知子氏によるそれぞれの立場から「子どもの進路にどう関わったか」という体験発表がありました。

八重樫氏の講演は「仕事、社会を次につなぐのではなく人材をつなぐ事が大事な事です」と話をされました。「いつの時代も変わらないものはやはりチャレンジ精神、コミュニケーション能力、先をよむ力だ」という事、相手の視点に沿って話を聞く力も必要な事だ」という事も話され、改めて当たり前の事を大切にしなければいけないなと思わされた講演でした。事務局が実施した研修会アンケートにおいても「とてもいいお話が聞けました」と感想をいただきました。デジタル化に頼るのではなく最後はやはり人の力が必要なんだと思います。

体験発表では、「子供の悩みを受け入れられるのは親が1番、やらねえ後悔よりやってみるがベストです」と改めて考えさせられるお話が聞けました。「子どもの個性を受け止める事は大事な事です。自分の意思で進路を決め、早めの目標設定をし取り組めた事が良かった」とも話されました。参加された保護者の方は今後、我が子と向き合う時のための参考になったことと思います。



我が校自慢

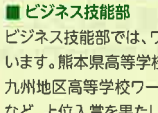
鹿本商工高校

本校には、専門高校ならではの特色を生かした部活動が多くあり、授業はもとより部活動でも技術・技能を高めています。



■マーケティング部

マーケティング部では、本校にある自動販売機の運営を行っています。生徒が運営しているのは本校ならではの、売れ筋を考えたがら仕入れを行ったり、商品のPOPを作成して販売促進を行ったりしています。



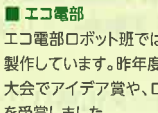
■ビジネス技能部

ビジネス技能部では、ワープロ競技大会に向けて練習に取り組んでいます。熊本県高等学校ワープロ新人競技大会速度の部団体優勝、九州地区高等学校ワープロ競技大会熊本県大会速度の部団体3位など、上位入賞を果たしています。



■機械整備部

機械整備部では、足踏み式アルコール噴霧器を製作して地域の方々に寄贈しています。製作するなかで工作機械を扱うなどのづくりの技能を高めるとともに、技術ボランティアをとおして地域貢献に取り組んでいます。



■エコ電部

エコ電部ロボット班では、日々試行錯誤しながらアイデアロボットを製作しています。昨年度には、熊本県高等学校アイデアロボット競技大会でアイデア賞、ロボットアイデア甲子園熊本大会で最優秀賞を受賞しました。



翔陽高校

多くの部活動が全国大会に出場!!

本校には、16の体育系部活動と10の文化系部活動に加え、4つの同好会があり、多くの生徒が日々活動しています。体育系部活動では、フェンシング部、拳法部、馬術部が県下有数の強豪校として活躍しており、本年度も県高校総体において上位に入賞し、全国大会の出場権を獲得しました。また、野球部も夏の県予選大会において、ベスト8に入るなど目ざましい活躍をしています。文化系部活動では、放送部がNHK杯放送コンテストの「朗読部門」と「校内放送研究部門」で上位に入賞し、「校内放送研究部門」は全国大会にも出場しました。全国大会では、GoogleMeetを利用した体育大会の動画配信等、ICTの活用についての研究を発表しました。



玉名高校

「よりあいカフェ」を開きました!

令和3年12月19日、玉名高校生徒会は令和2年7月の熊本豪雨によって甚大な被害を受けた八代市坂本町で復興支援活動を行いました。この活動は、坂本町出身で気象予報士の早田さんのご協力により「よりあいカフェ」を開くというものです。地元の方々の炊き出しをはじめ、本校書道部の書道パフォーマンスと書道教室、科学部によるスライムづくり体験、家庭クラブによるクリスマスリースづくりや針金アート体験、折紙作成などを行いました。多くの方々にご来場いただき、子どもたちにも喜んでもらったので私たちのほうが元気をいただきました。また、豪雨災害の話もたくさん聞かせていただき、その恐ろしさや大変さ、どのような対策が必要かなど考える機会となり、とても勉強になりました。この活動は、本校育友会の「若駒チャレンジ」という生徒の自主的な活動を支援する事業を利用して活動費を援助していただきました。また、早田さんをはじめ地元の方々にもたくさんご協力いただき心から感謝しています。多くの方々にご協力いただけて実現したこの活動は、本年度も坂本町で行う予定です。



天草工業高校

県立高校 One Team プロジェクト 街なか高校生派出所

「県立高校 One Team プロジェクト」の一環として、天草工業高校(本校)、天草高校、天草拓心高校が参加し、「街なか高校生派出所」と銘打った活動を行っています。天草市の銀天街の空き店舗を借用して定期的に各校の活動を紹介、他校生や地域の方々との交流を通じた地域課題解決等の探究的な学びにつなげるとともに、地元商店街に活力を与えるきっかけになればと考えています。7月17日(日)に開催した「街なか高校生派出所」では、本校機械科が缶バッジ、電気科が光るうちわ、土木科が本棚、情報技術科が電子オルゴールの製作をそれぞれ行いました。各科の得意分野を生かし、趣向を凝らしたものづくり体験が提供できました。

①機械科

機械科による缶バッジ製作の様子。描いた絵を缶バッジに貼り込んでいます。



③土木科

土木科による本棚製作の様子。釘打ちをしているところです。



②電気科

電気科による光るうちわ製作の様子。デザイン加工をしているところです。



④情報技術科

情報技術科による電子オルゴール製作の様子。ハンダ付けをしているところです。



部活動・生徒会特集!



必由館高校

生徒会活動における生徒の活躍・取り組み

必由館高等学校生徒会では、「自主自立の精神を伸長し、明るく健全な学校をつくり、社会に貢献する態度を育成すること」を目標に日々活動に取り組んでいます。主な活動としては、体育大会や文化祭などの行事の企画・運営、生徒議会の中で行う「制服検討委員会」や「校則検討委員会」などの生徒による話し合い活動、高校生議会や、高校生生の国フォーラムへの参加などの校外活動があります。

生徒会長を中心とする総務委員のメンバーは26名ですが、それぞれの活動の中で、その都度、広く参加希望を募りながら、必由館高校生徒会活動に意欲を高めることを目標に頑張っています。



コロナ禍の影響で、R3年度、R4年度は「坪りんびつ」という名称で学年ごとに体育大会を行いました。競技も生徒からアンケートを取り、アスレチックリレーなどを取り入れました。

「校則検討委員会」での話し合いの様子です。各クラスから希望で代表を募り、開催することで積極的な意見がたくさん出てきました。



8月1日に行われた高校生県議会に参加しました。「熊本県の人口減と出生率向上に向けた施策について」というテーマについて、専門の方々からの助言を受けながら質問を繰り返すことが出来ました。

熊本商業高校

①熊商デパート

毎年、12月初旬の土・日曜日に開催される「熊商デパート」は、今や熊本の冬の風物詩となっています。単に、売上を伸ばすことだけでなく、来場いただいたお客様にどのように満足をお届けするのかが検討されています。本年度も6月から店長会議や各部長会議を毎週開き、綿密な準備を進めています。本年度は12月3日(土)・4日(日)に開催予定です。ご来場を心よりお待ちしております。

②課題研究における「起業家育成」講座

3年生の課題研究の授業で「クラウドファンディング」による「くまもと人吉復興応援」に取り組みました。集中豪雨からの復興に協力したいとの思いから、地元洋菓子店「アムルメ菓樹」と共同開発した限定スイーツを販売し、商品代金の一部を寄付することができました。各方面からの支援を受け、クラウドファンディングの実践、商品開発、PR活動などを経験することができました。これまで学んだ商業の知識を現実の社会で生かすことができ、社会貢献につなげることができました。

③マーケティング部～「韓流ダイナミクス」

本校マーケティング部とKKRホテル熊本日本料理長尾方義明氏と一緒に考案開発したコッポリ弁当。韓流スターが大好きでコロナ禍の中、ライブにも行けない...韓流スターを近くに感じたいとの想いで作りました。

④文武両道

本年度の総体ならびに商業関係の競技会において7本の優勝旗を手にできました。限られた練習時間を有効に活用し、優秀な成績を収めています。女子陸上総合の部、女子バスケットボール部、ソフトボール部、簿記部、珠算部、電算部(電算処理)が熊本県大会を制し、インターハイや全国大会への出場を決めています。その他の部活動も優秀な成績を収めています。

八代清流高校

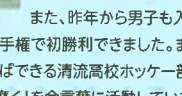
部活動

八代清流高校にはたくさん部活動があります。野球・バスケット・アーチェリー...。その中で、今回はホッケー部を紹介します。

ホッケー部があるのは、県内で3校だけです。その中の1つが八代清流高校ホッケー部。女子は全員が初心者からのスタート。県の総体では、いつも2位か3位です。もちろん経験豊富なチームが相手の時は苦戦続き。今年の総体も2位でした。(勝てるチャンスはあったのですが...)。でもその後の九州選手権では、総体で負けたチームに2勝できました。

女子(高校総体)

また、昨年から男子も入部し今年から本格的に始動。九州選手権で初勝利できました。まだまだ伸びしろがたくさんある、やればできる清流高校ホッケー部。「ホッケーを通して自分の人間性を磨く」を合言葉に活動しています。



男子(高校総体)

生徒会

生徒会・育友会意見交換会の様子



八代清流高校生徒会は、6月に新旧役員が入り替わり現在は新体制で活動しています。清流高校より良い学校にするために毎年7月に生徒総会を開催し、生徒から直接意見を聞いています。また先日は、育友会との意見交換会も実施しました。生徒・教師・保護者が一緒になって学校を盛り上げています。

九州ルーテル学院大学

人文学部 人文学科(定員100名) 心理臨床学科(定員50名)

本学(学部)で取得できる資格等

- 保育士資格 ○幼稚園教諭一種免許状
- 小学校教諭一種免許状 ○中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)
- 特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)
- 精神保健福祉士国家試験受験資格
- スクールソーシャルワーカー養成課程
- 公認心理師国家試験受験基礎資格

お問合せ 九州ルーテル学院大学 入試課



大学HP

人を学ぶ。人から学ぶ。

2023年度 ルーテルは学科・専攻再編



〒860-8520 熊本市中央区黒髪3丁目12番16号 TEL: 096-343-1600 E-mail: nyushi@klc.ac.jp



熊本県立菊池高等学校

汗と夢



あいさつ運動



清掃ボランティア



炊き出し



バザー

本校は明治41年創立の本年114年目を迎える県内でも有数の伝統校です。これまで27,000名余の卒業生を世に送り出しており、各分野で多くの卒業生の皆さんが活躍されています。また、南北朝時代に活躍した菊池一族の偉功を感じることが自然に囲まれており、高校生生活を過ごすには絶好の素晴らしい環境の学校です。

現在、本校は普通科及び商業科に336名の生徒が在籍し、「汗と夢」の校訓のもと、生徒一人一人がそれぞれの夢に向かって日々努力しています。特に本年はますます多様化する中学生のニーズに対応するために普通科に「未来探究コース」と地域探究コースを新設し、商業科の学びの見直しを行いました。さらに、菊池市から学校魅力化のためのディレクターとコーディネーターを派遣いただくとともに、公営塾「菊池前進塾」の開校による学習支援もいただいています。

本校は菊池高校育友会の

名称で活動しており、保護者相互の繋がりや教育活動への理解を深めるため、「保護者一人一役運動」と呼ばれる体制をとっています。保護者は、「学級委員」「理事」「育友会会長委員」「総務厚生委員」「広報委員」のいずれかの役職に就き、活動を行います。「学級委員」は、学年やクラス活動のとりまとめを行い、正門でのあいさつ運動に参加します。「理事」は、各担当委員の活動を補佐します。「育友会会長委員」は、本会が所有する育友会林（面積17ヘクタール）で生徒が安全に森林保全活動をするための下草刈り作業を行います。「総務厚生委員」は、文化祭におけるバザー、清掃ボランティア、体育行事の炊き出しを担当します。「広報委員」は、育友会広報誌「大望」を年3回発行します。その他、部活動に加入している生徒の保護者で組織される体育文化振興委員会が発足しています。全ての保護者が一体となって生徒を見守る体制づくりを、何よりも大切にして活動しています。



熊本県立八代農業高等学校

校訓
礼節と重んず
勤労と尚ぶ
誠実に生く



祖父母学級 体験授業



祖父母学級 会食



祖父母学級 料理



八農祭PTAバザー

本校は、二〇二〇年に創立百周年を迎え、一万六千名余りの卒業生を輩出した歴史と伝統ある学校です。節目となる百周年記念式典を一年延期して令和三年に開催致しました。本校の校訓「礼節と重んず、勤労を尚ぶ、誠実に生くを、在校生同窓生と共に噛みしめ、繋ぐ良い式典になったことを鮮明に覚えていきます。

本校は現在四学科で構成されていますが、令和五年度より三学科へ改編されることと決定しました。少子化の影響と、近年の定員割れも大きな問題です。しかし、本県よりプロフエッショナルハイスchoolの重点校と位置付けられた事で、より高度な専門性と地域社会の担い手育成を任せられ、前向きな学科改編だと大きく期待を膨らませています。

本校PTAは、執行役員と専門三委員会、学校総務職員と協力しながら協議運営を行っています。コロナ禍で中止せざるをえない状況ではありますが、珍しい行事と

して「祖父母学級」があります。孫がどの様に学んでいるかの祖父母限定体験型参観です。時には孫が助手になり、一緒に体験授業を受けて頂きます。昼食には、本校で生産した食材を使います。みれ会役員が心を込めた料理で会食。参加者の笑顔を見る度、「あ、八農で良かった」と言って頂けている様に感じます。

生徒減少はPTA活動にも影響があり、役員の選考、クラス選出委員についても苦慮するところです。時代に合わせたPTAの変化を模索しながら、生徒と一緒に楽しみながら創る八農。地域を盛り上げる八農を目指し、生徒、教職員、保護者と地域が繋がり、共創できる学校づくりを推進していきたいと思っています。

令和4年度 九高P連大会長崎大会第2分科会発表

進路指導とPTA ～子どもと共に進路開拓～

熊本県立玉名工業高等学校PTA会長 熊川 賢一郎

1 学校紹介

本校は、今年創立60周年を迎えます。開校当時は、機械科・電気科各2学級、工業化学科1学級でしたが、昭和39年に土木科が新設され6学級になりました。その後、電気科から、電子科を分離新設し現在の学級編成になっています。平成12年に西日本でも屈指の実習棟が完成し、設備の充実度も高く、毎年、「ものづくりコンテスト熊本県大会」の会場校としても利用されています。全国工業高等学校長協会が主催する「ジュニアマイスター」顕彰制度も11年連続で『学校表彰』を受けています。

2 PTA活動

保護者46名と学校関係者で構成されているPTA役員は、イベント委員会・生活委員会・研修委員会・広報委員会のいずれかに所属します。新型コロナ感染による拡大防止のために、PTA活動も縮小化し、現在は実態に合わせて活動をしています。

〔委員会活動〕

イベント委員会は、新型コロナの関係で文化祭バザーが出来なくなり、生徒たちの思い出の写真を撮ってあげたいと考え、写真撮影コーナーを作りました。生活委員会は、挨拶運動、長距離走大会交通指導を受け持ち、挨拶運動は8月、長距離走大会の交通指導では、私は生徒と一緒に走り、併走指導をしました。研修委員会は、いずれかの研修会に年間に1～2回参加する形を取りました。広報委員会は、



年間3回(7月、12月、3月)のPTA新聞を発行するのですが、写真を先生方に撮ってもらい、原稿はそれぞれの委員で書いてもらいます。

〔進路説明会〕

本校は、卒業後に就職を選択する生徒が約8割、進学が約2割という状況です。その進路先を決める進路説明会を毎年開いています。保護者と生徒が一緒になって進路に関する説明を聞きます。進路委員会というものはないのですが、保護者に周知して多くの参加者があります。東日本大震災・熊本地震・新型コロナウイルス感染拡大等の中でも就職求人数が大きく減らないのは、卒業生の就職先での実績と先生方のご尽力の賜だと感じています。

今年は、新型コロナウイルス感染状況の頃合いを見て、6月に先生たちによる現状報告会を開くことが出来ました。

生徒は、学校のスローガンである「工業人たる前に良き人間たれ」のもと、人間力やコミュニケーション能力を身に付け、私たち保護者も子供たちと共に成長し、一緒になって進路を切り開いて行かなければならないと考えています。



高校生に知って欲しい！サポステのこと

就労でつまづいた私でも向いている仕事に出会うことができました。
(介護職員/24歳)

ひきこもっていた自分でも「働けるイメージ」を持つことができました。
(身体障害/25歳)

自分に合ったサポートで働く自信を取り戻すことができました。
(OTPデザイナー/24歳)

踏み出してよかった！サポステ

一人一人に合わせた就職支援プログラムで、あなたを次のステージへ。

サポステ あしたを拓く人を創る
地域若者サポートステーション 厚生労働省 人材開発振興局

地域若者サポートステーション（通称「サポステ」）は、働く意欲はあるものの、様々な理由で一歩が踏み出せない若者の職業的自立を支援する施設です。特に進路が決まらないまま学校を中退した若者の場合、その後年齢を重ねてもなかなか無業の状態から抜け出しにくい実態があります。そのため、中退者等が就労へつながるよう切れ目のない支援を行うことが重要であると考えています。サポステでは、中退された方、進路未決定卒業生の就職支援、就職はしたものの辞めてしまった方の相談や就職支援などを行い若者に寄り添い応援するところです。

■たまな若者サポートステーション
住 所：玉名市中48-4
電 話：0968-74-0007
開所時間：10:00～18:00
月曜日～金曜日、第4土曜日
定休日：日・祝・年末年始

■くもと若者サポートステーション
住 所：熊本市東区栄町2-15
電 話：096-365-0117
開所時間：10:00～17:00
月曜日～土曜日
定休日：火・日・祝・年末年始

■若者サポートステーションやつしろ
住 所：八代市大手町2-1-13
人吉市上青井町166
電 話：0965-37-8739
開所時間：10:00～17:00
火曜日～土曜日
定休日：日・月・祝・年末年始

厚生労働省の事業です。ご利用は無料です。お気軽に上記のサポステまでご相談下さい。

こども未来学科
夜間3年課程
夜間週3日の通学で働きながら学ぶ

視能訓練士学科
3年課程
南九州で唯一の養成学科

医療事務管理士学科
1年課程
1年で医療事務のプロへ

学校法人 清水学園
西日本教育医療専門学校
〒862-0911 熊本市東区健軍3丁目50-21
TEL.096-331-3301(代) FAX.096-331-3302 info@nki-school.ac.jp

www.nki-school.ac.jp

オープンキャンパスの事前予約はホームページよりお申し込み可能です。お気軽にホームページをご覧ください。

毎年高い就職率を継続
授業料のみ12分割納入可能
高等教育修学支援新制度対象校
健軍電停から徒歩1分

熊本県PTA共済のご案内 (熊本県PTA教育振興財団)

***こんな事故にあったけど…と思われた場合は、学校またはPTA共済担当者にご連絡を…**

給付の具体的事例

P災コース

放課後の部活動練習中に負傷し、後遺障害(麻痺)が残った。
(後遺障害共済金)



P災コース

体育の授業中に転倒して歯を破折し、保険外治療(歯科補綴)が必要になった。

P災コース

許可された自転車・バイクでの登下校中に交通事故に遭い負傷した。(交通事故共済金)



生徒:P災コース 保護者:安互コース

部活動の練習試合に参加するため、生徒を送迎していた保護者の車が交差点で他の車と衝突し、運転手と乗せていた生徒が負傷した。
(交通事故共済金)

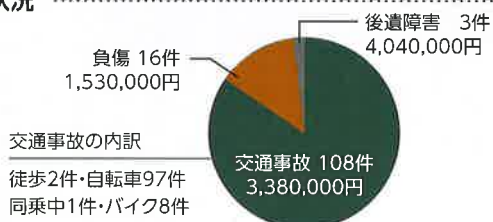


安互コース

保護者が、学校の授業参観に出かける途中で転倒して骨折した。
(負傷共済金)

令和3年度 高校生給付状況

**高校生に対する
給付の85%が
交通事故による
ものです。**



交通事故が減りません! 命を守る努力を…



令和3年度中の交通事故に対する給付は、前年度までに報告された事故を含め計140件(うち後遺障害1件)で、そのうち高校生の事故は108件、昨年度より10件増えており、ほとんどが登下校中の自転車あるいはバイク乗車中の事故です。

事故の被害者のみならず加害者にもなる可能性があります。無理な横断や追い越しなどの危険な行為も見られるため、道路交通法、自転車安全利用ルールを守り、**自転車でもできればヘルメットを着用し**、自分の命も周りの方々の命も守る努力をしましょう。また、事故にあったら、怪我がなくても**必ず警察に届け、病院を受診してください**。あとから症状が出る場合があります。

お問い合わせ先 (財)熊本県PTA教育振興財団

〒860-0842 熊本市中央区南千反畑町3-7 熊本県総合福祉センター4F
TEL:096-223-7119

熊本県公立高等学校
PTA連合会

生徒総合保障制度 保険金請求のご案内

もしもの時は、スピーディーに保険金をお支払いします!



デジタル保険金請求

ケガによる入院・通院 または 持ち物の損害は

オンラインで簡単請求

お手続きはこちらから →

<https://www.aig.co.jp/sonpo/service/contact/internet>



24時間365日 いつでも、どこでも受け付けます!



簡単支払特急便

ケガによる入院・通院、病気による入院・手術で
10万円以下のご請求は

電話による事故報告のみ

専用ダイヤル ケガの場合 **0120-127-591**
病気の場合 **0120-956-971**

受付時間 月～金曜日 9:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご利用には条件がございます。ご利用条件とご利用方法は、お手元の加入者証でご案内します。※持ち物の損害は「学校管理下動産補償特約」が付帯されているプランの場合ご利用いただけます。

その他の保険金請求は… スクール事故受付ダイヤル(24時間受付)

通話料無料 **0120-300-399**

保険へのご加入等
お問い合わせ先

保障制度担当代理店
株式会社コーリン

0120-228-553

受付時間:平日/午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

〒810-0022 福岡市中央区薬院4丁目3-5 セレス薬院5F

制度引受保険会社: AIG損害保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、損害保険ジャパン株式会社
ご加入の際は、パンフレットおよび重要事項説明書をお読み頂いた上で申し込みください。

S-220583(2023-08)

編集後記

PTAには小中学校を含め10年以上携わってきましたが、PTA新聞の作成は初めての経験でした。多くの皆様の協力により、無事第52号を発行することができました。原稿の作成についてご協力を頂いた各校の皆様をはじめ、発行に関わっていただいたすべての皆様に感謝いたします。前号までに特集されていた「我が校自慢の開発品・取り組み」が二巡し、今号から「部活動生徒会特集」として新たな特集となりました。各校の部活動・生徒会の取り組み、自慢したい活動を大いに発信していただきたいと思っています。

本年、成年年齢の引き下げが実施され、学校における金融教育も始まりました。今後様々な課題が想定されます。次号では、そんな今年こそ是非読んでいただきたい内容を予定しています。次号も是非ご覧下さい。

調査広報委員長 中野 真二

調査広報委員長 鹿本高等学校 PTA会長 中野 真二

調査広報委員長 翔陽高等学校 育友会会長 内村 恵美子

調査広報委員長 菊池高等学校 育友会会長 高宗 友子

御船高等学校 育友会会長 竹下 渉

熊本西高等学校 育友会会長 田畑 梨江

水俣高等学校 PTA会長 小嶋 和也

顧問 鹿本高等学校 校長 石村 秀一